

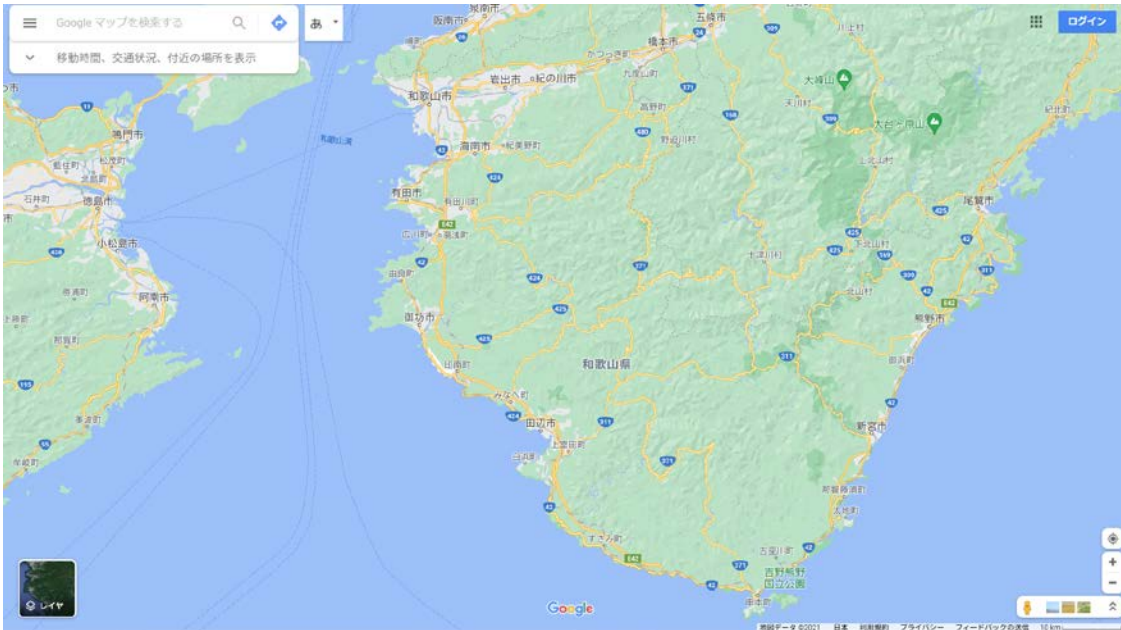
1 南方熊楠の神道的／土着的？側面

cf: 「顕教（論理）＋密教（変容）＋ゾクチェン（心の本性）＋

人びとが生きる空間（生態環境）にいる神がみ」

あるいは「僧院の中／村の中／洞窟の中 での実践」

としてのチベットの宗教



2 事／縁の学の射程

「今日の科学、因果は分かるが縁が分からぬ。

この縁を研究するが我々の任なり」

世界をとらえる／社会をとらえる／個人をとらえる

3 一周まわって「西洋」と対話するために？